

外装を一新した
室蘭テクノセンター



建設後 20 年を経過し、昨年度、外壁補修を行った。

財団
法人 室蘭テクノセンター

テクノだより

No. **002**

2011

TECHNO-DAYORI



テクノセンターは、室蘭地域（室蘭市、登別市、伊達市）の
中小企業振興を図る支援機関として、企業の技術力、経営力を高め、
地域産業の発展を目指します。

発行にあたって

日頃から、賛助会員をはじめ、室蘭・登別・伊達市、室蘭工業大学の皆様には、当財団の運営に際し、ご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

はじめに、3月11日に発生した東日本大震災は、過去に類のない大地震と大津波が東北地方の太平洋沿岸地域の市町村に壊滅的な被害をもたらしました。

さらに、福島第一原子力発電所の事故による放射線の流出が、今後も長期にわたって地域住民の生活に大きな不安を与えるとともに、当地域におきましても、登別温泉や洞爺湖温泉への観光客が減少するなど、日本全国に様々な形で、社会的・経済的影響を及ぼしておりますので、この原子力発電所事故の早期の収束と被災地の1日も早い復興を願うものでございます。

さて、4月の統一地方選挙におきましては、室蘭市においては青山新市長が誕生し、伊達市では菊谷市長の続投となり、両市長のご活躍をご期待申し上げます。

新市長は政策の中で、地域中小企業の皆さんへの一層の支援を図るため、「産学官民の連携強化」を挙げており、室蘭テクノセンターの地域企業と大学などの研究開発機関とを結び付けるコーディネート機能など、当財団が果たすべき役割は大きいものと実感しているところであり、新市長には、持ち前の若さと行動力を大いに発揮し、地域企業、経済の活性化のため、市政を推進していただきたいと考えております。

本紙の発行につきましては、昨年度に初めて取り組んだところでございますが、今年度におきましても、各関係機関の皆様にお届けする運びとなりました。

これからも、地域企業への支援、関係機関との連携に努めて参りますので、よろしくお願い申し上げます。

平成23年 8月 吉日

財団法人室蘭テクノセンター

理事長 栗 林 和 徳

テクノセンターの各種事業支援

ものづくり創出支援事業

室蘭地域（室蘭市・登別市・伊達市）に蓄積された技術・人材などの産業資源を活用し、起業化から新分野への展開、技術研修まで幅広く対応し一体化した支援を行うことで、新製品・新技術の開発、新事業の創出を促進します。

《補助事業メニュー》

1. 新製品・新技術開発の芽育成支援事業

事業化等の可能性のある新製品・新技術の開発に対する調査研究事業または基礎技術確立事業など。

▶ 22年度は5件の調査研究を支援しました。

2. 商品化推進支援事業

「マーケティング調査、消費者ニーズ調査などの需要調査」や「新製品のデザイン開発や既製デザインの改善実用化事業」、「生産技術等の開発や既存技術の改善」など。

▶ 22年度は5件の市場調査を支援しました。

3. 新製品・新技術事業化支援事業

市場投入の実現性が高い新製品・新技術の研究開発事業など。

▶ 22年度は4件の研究開発を支援しました。

4. 創業支援事業

新分野への事業展開のための事務所経費を助成。

5. 市場開拓支援事業

新製品・新技術の展示会等への出展や開催、ホームページ及びパンフレットなどの企画・作成や公的商談会等への参加など。

▶ 22年度は3件のホームページやパンフレットの作成及び展示会への出展を支援しました。

6. 技術・技能習得研修支援事業

技術・技能・デザイン開発等の習得のための先進企業や試験研究機関への技術者派遣、又は専門技術者招聘等による人材教育や研修事業など。

7. 資格取得支援事業

製造業にかかる技能士など。

▶ 22年度は1件の取得経費を支援しました。

《補助対象者》中小企業者及び任意の団体等

《補助限度額》室蘭テクノセンターのホームページ等をご覧ください。

これまでの「ものづくり創出支援事業」制度利用実績一覧

事業名	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
新製品・新技術開発の芽 育成支援事業	16	15	13	13	11	5	5
商品化推進事業	0	3	2	1	1	1	5
新製品・新技術開発 助成事業	1	2	0	0	0	2	4
市場開拓支援事業	2	3	4	3	4	6	3
創業支援事業	1	0	0	2	3	2	0
ISO 認証取得支援事業	8	2	1	—	—	—	—
技術・技能習得支援事業	—	—	—	4	2	0	0
資格取得支援事業	—	—	—	1	2	0	1
計	28	25	20	24	23	16	18

(件数)

平成22年度「ものづくり創出支援事業」による成果の一部を紹介



商品化推進支援事業を活用した「昆布締納豆」(写真A)と「菓子・たたら星」(写真B)、「トマトラーメン」(写真C)の各パッケージデザイン
写真Dは、新製品・新技術事業化支援事業を活用した「ラップ研磨剤のリサイクル装置」

産学官連携支援事業

1. フロンティア技術検討会の開催

テクノセンターの基本4事業の1つであります「産学官連携支援事業」で、室蘭工業大学との共催により、「拡大する中国経済とものづくり大国日本」をテーマに講演会を開催しました。



○開催日 平成22年10月29日(金)

○開催場所 中嶋神社「蓬峽殿」

○講演内容 演題1：「発展する中国と日本のあり方」

講師：愛知淑徳大学ビジネス学部 教授 真田 幸光 氏

演題2：「中国市場の実情と日本企業のチャンス」

講師：(株)アジア通信社 代表取締役社長 徐 静波 氏

演題3：「中国ビジネスの現場から」

講師：(株)北海道銀行国際部 国際課長 矢嶋 洋一 氏

○参加者 112名

○主催 室蘭地域産学官連携事業実行委員会（構成：室蘭テクノセンター、室蘭工業大学CRDセンター・同研究協力会、産学交流プラザ「創造」）



2. 企業技術・製品展示会の開催

地域で培われた地元企業の技術と製品を市民に公開し、室蘭地域の「ものづくり力」を実感してもらう「西いぶりの企業力2010」を開催しました。

○開催日 平成22年9月10日(金)、11日(土)

○開催場所 室蘭工業大学体育館

○開催内容 企業展示会（35社出展）、講演会、
パネルディスカッション、
工大キャンパスツアー

○主催 (社)北海道中小企業家同友会西胆振支部

○共催 室蘭テクノセンター、室蘭工業大学

○後援 北海道胆振総合振興局、室蘭市、登別市、
伊達市、洞爺湖町、豊浦町、壮瞥町、室蘭
商工会議所、登別商工会議所、伊達商工会
議所、洞爺湖町商工会、豊浦町商工会、
壮瞥町商工会、室蘭
民報社、北海道新聞
室蘭支社、NHK室蘭
放送局



▲ 講演会



◀ 工大キャンパスツアー

3. 産学官連携支援室

産学官連携支援コーディネータにより室蘭工業大学と企業との産学連携の促進と外部資金獲得のための大学シーズピックアップとコーディネートを行いました。

- | | |
|--------------------------|-----|
| ①開発の芽育成支援事業に係る大学との共同研究 | 1件 |
| ②大学と地域企業との仲介に関する研究室訪問・相談 | 93件 |

4. ビジネスEXPO（北海道 技術・ビジネス交流会）

毎年、秋に開催されるビジネスEXPO「第24回 北海道 技術・ビジネス交流会」に参加し、地域企業の技術や製品等のPRを行いました。

- 開催日 平成22年11月11日（木）、12日（金）
- 開催場所 アクセスサッポロ（札幌市白石区）
- 出展企業 5社



5. 「移動工業試験場 in 室蘭」開催

- 開催日 平成22年12月2日（木）
 - 開催場所 中嶋神社「蓬峽殿」
 - 主催 室蘭テクノセンター、北海道立総合研究機構、北洋銀行
- 1部…「振動制御システムの開発」をテーマに道立総合研究機構の中西洋介研究主査が、農業散布用アームの振動防止装置開発について講演しました。
- 2部…室工大CRDセンター長・加賀壽氏がコーディネーターとなり、「室蘭地域の強みを活かしたものづくり企業の次なる展開」をテーマにキメラ取締役製造部長、西野製作所社長、ニッテツ北海道制御システム技術統括部長らがパネルディスカッションを行いました。

6. 地域新ビジネス創出システム推進事業

産業創出の推進を図るため、地域のニーズや素材を元にしたビジネス化のアイデアを掘り起こすとともに、企業等が発案した取り組みについて、開発、事業化及び販路開拓等を幅広く支援しながら産学官連携による新たな地域産業を創出しました。

- ①地域産業プロデューサーの配置
(ビジネスコーディネーターが兼務) 2名
- ②産業創出の芽の発掘・プロジェクト化への企画検討プロデュース(試作、開発企画、市場調査含む)
プロデュース実施テーマ 3件



▲ 開発された大型クラゲの除去装置

7. 産学交流事業

産学交流プラザ「創造」会員相互の企業情報交換や室蘭工業大学の教員との交流を行い、人的ネットワークの形成と新たな共同研究発掘のため、同プラザの運営支援を行いました。

■平成22年度の「創造」の活動状況

4/20	企業紹介・情報交換会	25名参加	佐々木機工(株)の企業概要を紹介
5/17	企業紹介・情報交換会	23名参加	日鋼デザイン(株)の企業概要を紹介
6/21	企業紹介・情報交換会	24名参加	(株)檜崎製作所の企業概要を紹介
7/27	企業紹介・情報交換会	24名参加	アオキ製作(株)の企業概要を紹介
8/4	サプライサイクル見学会	21名参加	
8/20	ものづくりテクノフェア見学会	13名参加	
8/31	企業紹介・情報交換会	19名参加	第一建設(株)の企業概要を紹介
9/13	室蘭工業大学シーズ発表会	20名参加	
9/21	企業紹介・情報交換会	23名参加	(株)荏原環境テクノ北海道の企業概要を紹介
10/6~7	他地域企業視察会(芦別市・赤平市)		(株)植松電機、北日本精機(株)、空知単板工業(株)、(株)いたがきの4社 17名参加
10/19	企業紹介・情報交換会	30名参加	(株)日本製鋼所室蘭製作所の企業概要を紹介
11/24	企業紹介・情報交換会	20名参加	(株)三好製作所室蘭工場の企業概要を紹介
1/19	企業紹介・情報交換会	26名参加	(株)永澤機械の企業概要を紹介
2/25	講演会((株)千田精密工業代表取締役・千田伏二夫氏「地域に必要とされる企業を目指して」)	34名参加	
3/15	企業紹介・情報交換会	19名参加	ニッテツ北海道制御システム(株)の企業概要を紹介



サプライサイクル見学会



企業視察会(芦別市・北日本精機(株))

経営支援事業

1. 技術・経営、特許相談

財団のビジネスコーディネーター、特許相談員、室蘭市産業振興システムタイザーなどの専門家による技術・経営等の相談指導、各種支援制度の紹介及び申請指導を行うほか、大学・研究機関への仲介を行いました。

総 数	受発注	技 術	経 営	創 業	その他
423件	4件	74件	19件	3件	323件

2. 地域企業訪問ヒアリング

①企業経営者・管理者との面談により、企業ニーズの収集を行ったほか、技術開発、製品開発に向けた意向調査を行いました。

○ 訪問企業数 48社（製造業20社、卸売業5社、サービス業12社、その他11社）

②主な要望

- ・ 研究開発補助金・助成金のコーディネート及び指導
- ・ 人材の育成・教育、情報提供
- ・ 共同研究、技術指導に関する産・学・官への仲介
- ・ 市場開拓に対する支援、情報提供
- ・ 各種講演会・講習会の開催、情報提供

3. 省エネ診断

中小企業の工場や店舗などの省エネ診断を行い、経営コストの削減を支援しました。

・対象事業者 6社

低炭素社会の実現に向けた取り組みは、企業にとっての省エネ活動であり、企業の体質強化、コスト削減に繋がる活動でもあります。

平成22年度は室蘭商工会議所及び北海道銀行と連携し、室蘭市内では、ホテル業、酒類小売業、建築資材卸売業、機械部品製造業の4社、登別市内では、ホテル業、化学工業薬品製造業の2社で省エネ診断を実施しました。

室蘭市内4社の診断結果は、『電力デマンド監視装置の導入』、『店舗スポットライトの高効率蛍光灯への交換』、『集塵機へのインバーター導入』、『廃熱回収ボイラ給水予熱』などの対策により、期待効果として年間省エネ率**8～38%**、コスト削減額360～1,310千円、CO₂排出削減7～38%に相当する提案を行いました。

登別市内2社の結果は、『源泉熱回収による暖房への利用』、『高効率ボイラへの更新』などの対策により、期待効果として、年間省エネ率**3～28%**、コスト削減額1,310～17,080千円、CO₂排出削減3～29%に相当する提案を行いました。

4. 中小企業早期再生支援システム構築事業

北海道の受託事業として、中小企業の経営安定の取り組みを強化するため中小企業の直接相談や、信用金庫と連携した経営悪化の初期段階において、各種施策の活用について支援しました。

- ・ 再生マネージャーの配置
- ・ 経営相談の段階的対応

5. 新事業展開等支援体制構築事業

北海道の受託事業として、新事業展開や新分野進出を目指す中小企業を積極的支援しました。

- ・インキュベーションマネージャーの配置
- ・各種セミナーの開催

①室蘭地域経営支援セミナー

室蘭地域の「新規事業を考えている」「起業して間もない」若手経営者を対象に開催しました。

○内 容

- ・第1部…「成功する新規事業の作り方」
平成22年11月10日（水）10:00～17:00
6名参加
- ・第2部…「基礎から学ぶ財務分析とキャッシュフロー」
平成22年12月8日（水）10:00～17:00
10名参加

○会 場 室蘭テクノセンター2階研修室

○講 師 アステック経営 代表 中野貴英 氏



室蘭地域経営支援セミナー（第1部）



室蘭地域経営支援セミナー（第2部）

②環境リサイクルセミナー

ガラス研磨剤には、大変貴重となりましたレアアース（酸化セリウム）が含まれています。使用済みの研磨剤を凍結・解凍してレアアースを回収し、再生研磨剤として使用する取り組みについて紹介しました。

○日 時 平成23年1月27日（木）15:00～17:00

○会 場 室蘭テクノセンター2階研修室

○講 師 国立大学法人 福島大学教授 佐藤理夫 氏

○参加者 25名



▲ 環境リサイクルセミナー

6. 室蘭職業訓練協会受託事業

室蘭職業訓練協会業務を平成22年10月に受託し、協会に加盟する建築・塗装・板金・左官・電気事業組合のうち、板金組合に所属する2企業の会員の技能向上訓練を行い、技術・技能習得について支援しました。

- ・訓練期間 平成23年1月24日～2月25日（24日間）

その他・レポート

平成22年度JICA集団研修（国土交通省北海道開発局による開発途上国の行政官を対象とした研修）の一環で6か国7名の研修員が7月20日、同テクノセンターにも立ち寄り、同センターの中小企業支援の取り組みについて説明しました。



国からの受託事業

1. 戦略的基盤技術高度化支援事業

経済産業省の受託事業で、下記のとおり平成21年度に引き続き実施しました。

平成21年度採択	
研究開発テーマ	熱処理の後工程処理後における変寸のばらつきを低減する熱処理技術の開発
研究内容	多くの産業において重要な要素技術である熱処理と後工程を連携して変寸発生メカニズムを解明し、不良現象を抑制する熱処理技術を確立するため、供試体等によるデータの収集を実施
共同研究機関	室蘭ヒート(株)、(株)ダイナックス、北海道立総合研究機構工業試験場
実績額	2.8千万円

2. 低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業

経済産業省の受託事業で、低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業を平成21年度に引き続き実施しました。

平成21年度採択	
実証研究テーマ	農工循環資源を利用した亜寒帯沿岸域藻類によるCO ₂ 吸収実証モデル事業
研究内容	「農工循環資源を用いた低CO ₂ 型資材」及び「施肥ユニット」と「藻類の樹脂化・オイル化技術」を組み合わせ、亜寒帯沿岸域での藻場（藻類量）拡大～藻類バイオマス化の実証技術を検証するため、水和固化体、施肥ユニットの製造準備と藻類の樹脂化・オイル化のラボベースでの実証を行った。
共同研究機関	新日本製鐵(株)、(株)テツゲン、新日鐵化学(株)、五洋建設(株)、(株)エコニクス、国立大学法人北海道大学、国立大学法人静岡大学
実績額	11.2千万円



▲室蘭海域での水和固化体ブロック投入状況

海底に設置された水和固化体ブロック▼



▲水和固化体ブロックに着生した海藻類

テクノセンタースタッフの支援

テクノセンターには、技術や経営に関する相談に必要なビジネスコーディネーターなどの専門のスタッフがいます。

私たちスタッフが室蘭地域の中小企業が抱える様々な課題解決のお手伝いをします。

あんざわ

●安澤総括アドバイザー

エネルギー・環境関連の設備技術開発や新規事業開発等に関する助言・指導を行っています。地域新ビジネス創出システム推進事業及びものづくり創出支援事業では、課題解決に必要なシーズを提案し、指導・推進することにより「研磨剤リサイクル装置」と「大型クラグ除去装置」の事業化を成功させると共に、蓄熱電気暖房機の「放熱量制御装置」及び「薄型化開発」を、それぞれ事業化レベルまで推進させました。

また、「雑海藻除去装置開発」に必要なシーズを提案し、目標を達成させました。

省エネ診断事業では、地元中小企業6社の診断を行い省エネ率3～38%の対策案を提示しました。市場開拓支援事業では、首都圏企業訪問に同行し、地元企業の受注拡大を支援しました。

かみで

●上出ビジネスコーディネーター

22年度は室蘭市産業振興システマタイザーとしての仕事でしたが、今年度はビジネスコーディネーターとして企業訪問させていただき、課題の聴き取り調査と検討及び支援事業と支援機関の紹介に努めています。

多くの経営者の方々が差別化された製品を造る、あるいは技術を保有することのために、ご苦労されています。お持ちの課題をぶつけてみませんか？一緒に問題を整理してみましょう。

むらかみ

●村上ビジネスコーディネーター

今年の3月まで北海道中小企業総合支援センターでコーディネーターの仕事をしていましたが、4月から地元のテクノセンターでビジネスコーディネーターとして仕事をしています。

地域内の企業訪問によるニーズの把握や技術に関する相談、市場開拓や市場拡大に関する相談など、これまで40年以上にわたって機械設計や会社経営、人材確保に携わってきた知識と経験によりアドバイスします。気軽にご相談ください。

ありた

●有田再生支援マネージャー

中小企業の経営安定の取り組みを強化するため、中小企業の直接相談や金融機関と連携した各種施策の活用について支援しています。22年度は経営相談の段階的対応など36件について対応しました。

おがさわら

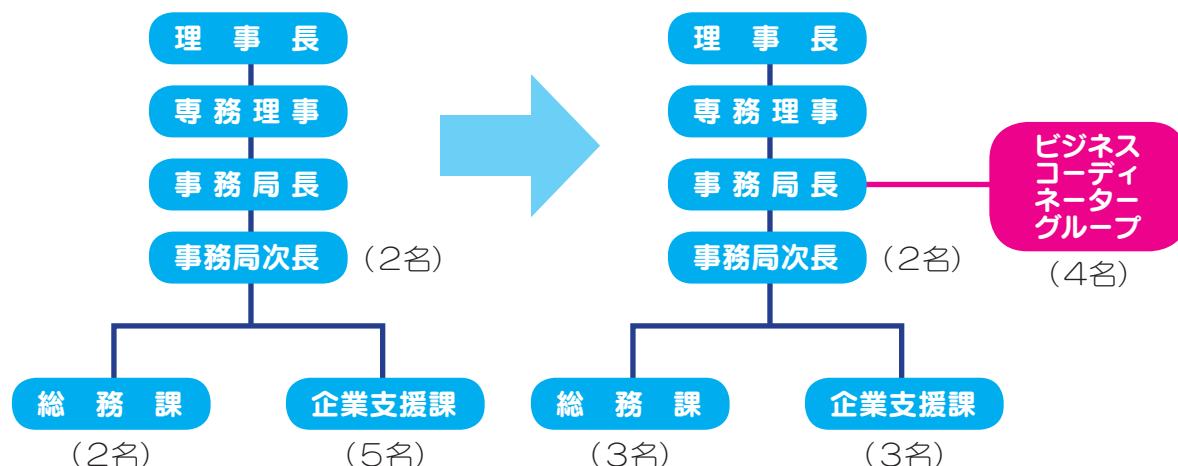
●小笠原インキュベーションマネージャー

新事業展開や新分野進出を目指す中小企業の事業戦略やプランニングづくり等の相談受付やアドバイス等の個別支援を行っています。

[※インキュベーション：新しい事業を創る]

当財団の組織体制が一部変わりました

平成23年4月1日より、室蘭地域の企業の技術や経営相談に関わるコーディネート機能を強化するため、下記の体制に改めました。



※ビジネスコーディネーターグループの1名は企業支援課主幹が兼務。

※事務局長は専務理事が兼務。

公益法人制度改革に伴う公益財団法人への移行について

平成20年12月1日、「民間による公益の増進」を目的に公益法人制度改革3法が施行され、当財団を含む従来の公益法人は、法律施行後5年以内に公益財団又は一般財団への移行が義務付けられました。

当財団につきましても、これまで類似支援機関との情報交換や他の公益法人の移行状況等を参考に、指導官庁である道とも協議を行いながら、検討を重ねてきました。

公益も一般も、それぞれメリット、デメリットがありますが、基本財産の運用等において税制上の優遇措置を多く受けられる公益への移行が最良と受け止め、先に開催されました当財団の理事会・評議員会におきまして、公益財団法人への移行準備を進める旨を報告させて頂いたところでございます。今後、財団の機関決定を受け、移行申請に向け、具体的作業を進めていきたいと考えておりますので、賛助会員、各関係機関の皆様のご理解をよろしくお願い致します。

平成23年度の フロンティア技術検討会の開催がままりました！

1. 開催日～平成23年10月19日（水）
2. 会 場～中嶋神社「蓬峯殿」
3. 講演テーマ～「企業のリスク管理の考え方とその実践」

※詳細については、後日ポスター、チラシ等でご案内します。